

富山市岩瀬地区に伝わる祝い唄「岩瀬まだら」の踊りを継承する「岩瀬まだらおどり伝承会」の発会式は20日、富山市の岩瀬方ナル会館で行われた。関係者約110人が門出を祝うとともに、会員が初踊りを披露し、ふるごとに根付いた踊りを新たな気持ちで後世に伝えることを誓った。

# 地域の宝に

# 岩瀬まだら伝承会発足

伝承会は、岩瀬まだら踊りの後継者の高齢化が進む中で伝統の灯を消さない、約30年にわたり踊りを指導している日本舞踊家、花柳香齋さん（富山市岩瀬白山町）が発足を提案した。花柳さんが主宰する花柳松香会が踊りの講師を務め、岩瀬まだら保存会の会員が唄を担当。岩瀬地区の自治振興協議会や婦人会、岩瀬小などが協力する。

発会式では、名誉会長に就いた花柳さんが「花柳松香会と保存会が両輪となって岩瀬まだらを盛り上げていきたい」とあいさつ。杉本正興会議長、金尾雅行岩瀬自治振興協議会長が順に祝辞を述べた。会長に就任した花柳香齋さん（29）は「岩瀬まだらが一人で多くの方に親しまれ、岩瀬の宝となるように努める」と決意を述べた。副会長には花柳香齋会の川筋加奈子さん、館知江子さん、高真理子さんが就任した。

初踊りでは、保存会の唄に合わせて、会員が扇子を使った動きと群舞で、船をこぐ様子や朝日が昇るさま、人の輪を優美に表現し、会場を盛り上げた。

## 門出祝い 初踊り

5月2日に富山港に入港する商船三井客船（東京）のクルーズ客船「にっぽん丸」の出発イベントが伝承会の初舞台となる。練習会は岩瀬地区センターで6月から毎月第1月曜日の午前11時から1時間程度行われる。会では性別や年齢に関係なく、入会希望者を受け付けている。問い合わせは事務局076（437）8355まで。



初踊りを披露する伝承会の会員。富山市の岩瀬方ナル会館



# 海王丸で 結婚式

立会人は船長

射水市の海王丸パークに保留されている帆船海王丸で20日、船上結婚式が行われた。NPO法人地域活性化支援センターの選ぶ「恋人の聖地」に同パークが認定されて以来、初めての式となった。新郎新婦は、大勢の祝福を受け、永遠の愛を誓った。

指輪を交換した後、結婚証明書に署名した。新郎新婦は「温かな家庭を築きます」と誓いの言葉を述べた。船に恋人の聖地を銘板が設置され、新郎新婦らによる除幕が行われた。智之さんは「すてきな式になって幸せだ」と話し、準子さんは「たくさんの人に見守られてうれしかった」と語った。

愛知の平さん 「恋人の聖地」認定後初

式に臨む平さん夫妻—射水市の海王丸パーク